

# 定期作況報告

(平成24年10月20日現在)  
上川農業試験場天北支場

## I 気象概況

9月下旬から10月中旬までの気象は以下のように推移した。

9月下旬：平均最高気温が20.1℃(対平年比+1.9℃)、平均最低気温は13.3℃(+4.6℃)と平年より高かったため、平均気温は16.5℃(+3.2℃)と平年より高かった。降水量は17.0mm(60%)と平年より少なかった。日照時間は50.4時間(86%)と平年並であった。畑地温は15.7℃(+1.7℃)と平年より高かった。

10月上旬：平均最高気温は17.8℃(+1.4℃)と平年より高く、平均最低気温は8.7℃(+1.2℃)と平年よりやや高かったため、平均気温は13.6℃(+1.2℃)と平年よりやや高かった。降水量は0.5mm(2%)と平年より少なかった。日照時間は59.6時間(125%)と平年よりやや長く、畑地温は13.6℃(+0.9℃)と平年よりやや高かった。

10月中旬：平均最高気温は14.1℃(-0.4℃)と平年並であったが、平均最低気温は6.9℃(+1.5℃)と平年より高かったため、平均気温は10.8℃(+1.4℃)と平年よりやや高かった。降水量は65.0mm(260%)と平年より多く、日照時間は27.4時間(61%)と平年よりやや短かった。畑地温は10.3℃(-1.0℃)と平年より高かった。

以上、この期間を要約すると平均気温の3旬の平均は13.7℃(+1.9℃)と平年より高かった。降水量の3旬合計は82.5mm(96%)、日照時間の3旬合計は137.4時間(91%)といずれも平年並であった。畑地温の平均は13.3℃(+0.6℃)と平年よりやや高かった。

4月からの主気象要素の積算値は、平均気温、日照時間、畑地温は平年並に推移している。一方、降水量は平年の76%と平年よりやや少なく推移している。

### a. 気象表

項目	9月下旬			10月上旬			10月中旬			3旬平均または合計		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
平均気温(℃)	16.5	13.3	3.2	13.6	12.4	1.2	10.8	9.4	1.4	13.7	11.8	1.9
平均最高気温(℃)	20.1	18.2	1.9	17.8	16.4	1.4	14.1	14.5	△ 0.4	17.4	16.4	1.0
平均最低気温(℃)	13.3	8.7	4.6	8.7	7.5	1.2	6.9	5.4	1.5	9.8	7.3	2.5
降水量(mm)	17.0	28.1	△ 11.1	0.5	32.8	△ 32.3	65.0	25.0	40.0	82.5	85.9	△ 3.4
降水日数(日)	5	4	1	1	5	△ 4	10	5	5	16	14	2
日照時間(hrs)	50.4	58.4	△ 8.0	59.6	47.7	11.9	27.4	44.7	△ 17.3	137.4	150.7	△ 13.3
平均畑地温(10cm,℃)	15.7	14.0	1.7	13.6	12.7	0.9	10.3	11.3	△ 1.0	13.3	12.7	0.6
最多風向	E			E			WSW					
平均風速(m/s)	3.2			2.8			3.3					

注1) 平均畑地温は上川農試天北支場のデータ、その他の観測値は浜頓別アメダスのデータ。

2) 平年値は前10か年の平均より上川農試天北支場作成。

3) 降水量、降水日数、日照時間の3旬平均欄は3旬の合計値。

4) △印は対平年値比減を示す。

### b. 主気象要素積算値(4月21日～10月20日)

	平均気温(℃)	降水量(mm)	日照時間(hrs)	畑地温(℃)
本年	2,702	417	880	2,295
平年	2,504	549	899	2,323
比較	197	△ 132	△ 19	△ 28

## Ⅱ 作 況

### 1. 採草型 チモシー（3番草）

作況：良

事由：収穫期の草丈は平年より15cm高く、乾物収量の平年比は134%と多収であった。2番草刈取後は平年に比べて気温が高く、降水量が少なく推移しているが、9月中旬の降水量が平年よりやや多かったこと、乾物率が平年に比べて低いことから、降水不足による生育の影響はなく、高温により生育が促進されたと推察される。

以上より、3番草の作況は良である。

越冬前(10月20日)の草丈は平年並であった。

調査項目：

収穫期 (月.日)			収穫期の草丈(cm)			10月20日の草丈(cm)		
本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
10.16	10.10	6	60	45	15	14	13	1

生草収量 (kg/10a)			乾物率 (%)			乾物収量 (kg/10a)			
本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	指数
1250	755	495	17.8	22.1	△4.3	223	166	57	134%

注) 平年値は前7か年のうち、平成20年(最豊年)及び平成22年(最凶年)を除いた5か年平均値。

### 2. 放牧型 ペレニアルライグラス（6番草）

作況：良

事由：収穫期の草丈は平年より4cm高く、乾物収量の平年比は122%と多収であった。前番草刈取後は平年に比べて気温が高く、降水量が少なく推移しているが、乾物率が平年に比べてやや低いことから、チモシー同様、降水不足による生育の影響はなく、高温により生育が促進されたと推察される。

以上より、3番草の作況は良である。

調査項目：

草 丈 (cm)		
本年	平年	比較
35	31	4

生草収量 (kg/10a)			乾物率 (%)			乾物収量 (kg/10a)			
本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	指数
713	579	134	17.4	17.7	△ 3	124	102	22	122%

注) 平年値は前7か年のうち、平成18年(最豊年)及び平成22年(最凶年)を除いた5か年平均値。